

● 特定外来生物「オオキンケイギク」

きれいに
咲いていても

駆除

しましょう。



路肩に咲くオオキンケイギク

栽培・運搬・販売などは禁止されています

5～7月ごろに黄色の花をつける北米原産のキク科の多年草「オオキンケイギク」は、観賞用・緑化用として海外から持ち込まれましたが、**繁殖力が強く、日本の生態系に重大な影響を及ぼす恐れ**がある植物として、平成18年に外来生物法による「特定外来生物」に指定され、**栽培、運搬、販売、野外に放つことなどが禁止**されています。

オオキンケイギクの特徴

- 花の色は黄色で中心も同じ色
- 花の大きさは、5～7cm程度
- 花びらの先はギザギザ
- 葉は細長いへら状の形
- 葉の両面に荒い毛が生えています
- 茎の高さは30～70cm程度



先がギザギザになっている花びら



細長いへら状になっている葉

駆除はどうすればいいの？

※ 駆除する場合は、生育している場所の管理者に了解を得てから行ってください

時期

駆除は、**花が咲き始めの5月上旬ごろ**から実施すると良いでしょう。夏から秋にかけて種をつけます。

駆除方法

オオキンケイギクは多年草です。大変ですが、**根こそぎ駆除**しましょう。同じ場所で、翌年も続けて抜き取りできると効果的です。

処分方法

オオキンケイギクの種子と根は、**生きたままの運搬などが法律で禁止**されています（**種子ができる前に、地上部を刈り取った場合には関係ありません**）。根こそぎ引き抜いた後、その場で枯らせたり、燃やすごみとして処理してください。

問い合わせ先

農林環境課 ☎ 43-9023

午前8時30分～午後5時15分（土日および祝日を除く）